

DAIKUEI

Vol.98



一般
社団法人

大阪空気調和衛生工業協会

機関誌 第98号(新春号)

[目 次]

巻頭言 新年のご挨拶 北村 広外志会長 …… 1	官公庁との懇談会
新年のご挨拶	◇国土交通省近畿地方整備局営繕部 …… 13
大阪府知事 …… 2	◇大阪府都市整備部住宅建築局設備課 …… 13
国土交通省近畿地方整備局	賛助会員との交流懇親会を開催 …… 14
営繕部長 頼本 欣昌 …… 3	技術ニュースを発行 …… 17
新年交礼会を開催 …… 4	4 団体協議会を開催 …… 25
日空衛第30回全国会議開催 …… 6	第22回管工機材・設備総合展に協賛 …… 25
第15回配管技能コンテストを開催 …… 7	第52回野球大会を開催 …… 26
配管技能コンテストに参加して …… 9	大空会ゴルフ大会を開催 …… 30
(学生の部上位)	青年部会・なでしこ設備会だより …… 31
令和7年度安全衛生大会を開催 …… 11	告知板(賛助会員募集・行事予定) …… 33
	年賀ご挨拶(会員・賛助会員一同) …… 34
	編集後記 …… 36

(表紙写真)

大川の冬景色

中之島の東端廻りから大川の上流部を望むと、現在の大阪のビジネスの中心地となっているOBP(大阪ビジネスパーク)が視界に入ってくる。

下流は、中之島で北の堂島川、南の土佐堀川に分岐するが、さらに下流になると、宇治川と名を変えていく。

明治から昭和初期の名所葉書では、堂島川、土佐堀川界限は、当時の大阪の商業の中心であったことが伺える。



新年のご挨拶

会長 北村 広外志

新年、明けましておめでとうございます。

皆様方には、お健やかに新年をお迎えになられたことと、お慶び申し上げます。

近年、能登半島や日向灘をはじめ、昨年12月の震度6強が観測された青森県八戸市等、全国で地震が頻発するなど、南海トラフ地震等の巨大地震への警戒が高まっており、今後も引き続き予断を許さない状況にあります。

さて、昨年中の主な出来事といたしましては、2025大阪・関西万博の開催、世界陸上やデフリンピック東京大会における日本選手の活躍、大リーグの大谷選手が4度目となるMVPに輝くなど、嬉しいニュースもありました一方で、東北地方を中心に全国各地で、市街地へのクマ出沒による死傷者が例年に比べ非常に多いといった災害級の異常事態が発生しています。

私共を取り巻く職場環境ですが、改正労働基準法により一昨年4月から罰則付き時間外労働時間の上限規制の適用から2年近く経過しており、会員企業においても、現場における業務の効率化・合理化等、生産性向上の一層の推進による時間外労働の縮減を図るなど「働き方改革」が着実に推進しつつあります。

一方で、賃金の上昇が物価上昇に追いつかない状況は続いております。

建設業界においても、建設費の高騰や深刻な人材不足により、一部の商業施設や工場等において建設が計画通りに進まないケースが見受けられ、民間設備投資の計画変更等も懸念されるようです。

そこで、働き方改革の要ともいえる「労務費の適正確保」につきましては、昨年12月に改正建設業法等が全面施行され、その中で、受注者について不当に低い請負代金・著しく短い工期による契約締結の禁止、建設工事の見積書に記載すべき事項の明記、見積書において示された金額を著しく下回る金額での契約締結を行った発注者に対する勧告・公表権限の新設等が明記されています。

今後は、専門工事の技能者への適正な労務費の行き渡り等の実効性がより確保されるよう、国の対応を注視してまいります。

また、3年前から日本空調衛生工事業協会が日本電設工業協会と共同で、適正な工期の確保、長時間労働の是正といった「働き方改革」の更なる推進に向け、公的発注機関、建設業団体等の各諸団体へ要請活動を展開しているところです。

当協会は、日本空調衛生工事業協会と連携を図りながら、大阪建設業協会、日建連関西支部等の建設業団体へ引き続き要請活動を行ってまいります。

結びに、協会活動の活性化と業界の更なる発展のために、会員・賛助会員皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げますと共に、各社の繁栄と皆様にとって、すばらしい一年になることを祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

大阪府知事

新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃から建設業の振興を通じ、大阪府政の推進に格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年は、皆様のご支援・ご協力を得て、大阪・関西万博を成功裏に開催することができました。国内外の2,900万人を超える来場者が「いのち輝く未来社会」を体感し、会場では連日、子どもたちをはじめ多くの皆様の笑顔と感動があふれました。また、万博にあわせ、各国との文化・外交・ビジネス分野での交流も大きく進展し、関連投資や来阪旅行者による需要拡大が大阪経済に大きなインパクトをもたらすなど、様々な成果を得ることができました。

今年は、こうした成果を糧に、開催地・大阪として、世界に伍する経済力・都市力と、唯一無二の魅力を持つ「副首都・大阪」の実現に大きな一歩を踏み出し、安全・安心、ウェルビーイングの向上につなげ、大阪の飛躍に向けた新たなフェーズに果敢に挑んでまいります。

その大きな目標に向かい、まずは、大阪の経済成長をさらに加速させます。万博を機に芽吹いた「未来社会」を彷彿とさせる新技術を社会に根付かせ、大阪経済をけん引する成長産業の創出につなげるべく、新技術の実装化・産業化を後押しする仕組みを構築します。

次に、都市力の向上に向け、これまで大阪の成長・発展を支えてきたキタ・ミナミといった南北軸に加え、「夢洲」や「大阪城東部地区」を含む東西軸の新たなまちづくりを進めるとともに、なにわ筋線や大阪モノレール、淀川左岸線といった鉄道・道路ネットワークの充実強化など、成長を支える都市基盤の整備に取り組みます。

さらに、府民の命と財産を守る取組みとして、近年、頻発化・激甚化する自然災害に備え、三大水門の更新や密集市街地対策などを着実に進め、災害対応力を強化するとともに、全国で顕在化しているインフラの老朽化対策にもしっかりと取り組みます。

こうした取組みを進めていくうえでも、建設業に従事する人材の確保と皆様が安心して働くことができる環境づくりが重要です。貴協会におかれましては、未来を担う技術者、技能者の育成や確保等に取り組まれております。今後とも、大阪の建設業、大阪・関西経済のけん引役としてご活躍いただきますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人大阪空気調和衛生工業協会の今後ますますのご発展と、今年が皆様にとって実りある素晴らしい年となりますようお祈りいたします。

新年のご挨拶



国土交通省 近畿地方整備局

営繕部長 頼本 欣昌

明けましておめでとうございます。

一般社団法人大阪空気調和衛生工業協会並びに会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より官庁営繕事業の推進にあたり、格段のご支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、30年度までには新築建築物の平均でZEB Ready相当となることを目指すとされており、営繕部においては新築事業について原則ZEB Oriented相当以上を目指して整備を進めています。今年度からは、新築の設計段階において、ライフサイクルカーボンの算定を先行的に試行することとしています。また、木材利用にも力を入れており、新築については一部を木造化することも含め原則木造化するとともに、目に触れる機会の多い部分の内装を木質化する方針としています。

一方で、近年激甚化・頻発化する自然災害に対する安全・安心の確保や、築後30年以上が経過したものが約6割を占める既存官庁施設の老朽化対策も課題となっています。国土交通省では、長寿命化を図るための躯体保護や機能を維持するための設備の改修工事を実施するとともに、施設管理者に対して長寿命化に係る保全指導を行っています。

建設業界では、少子高齢化などによる担い手不足や、若手育成などのさまざまな課題を抱えており、いわゆる第三次「担い手3法」が改正され、担い手の確保のための働き方改革・処遇改善に向け、公共工事から取組を加速化・牽引していくこ

ととしております。改正建設業法及び入契法が昨年12月12日に全面施行に伴い、適正な労務費の確保・行き渡りに向けて、公共工事標準請負契約約款の改正や、労務費ダンピングを防止するための公共発注者向けガイドラインが示され、営繕工事においても、労務費等の内訳の把握が可能となるよう、内訳書標準書式等に労務費等の記載を追加するとともに、「単位施工単価」の導入を開始したところです。

営繕事業における働き方改革としては、時間外労働の上限規制や猛暑による作業不能日を考慮した適正な工期設定や、現場実態を反映した適正な予定価格の算定や必要な契約変更の円滑な実施等に取り組んでいるほか、今年度から完全週休二日の実施に向けた取組を加速しており、円滑な事業推進による質の高い官庁施設の整備を着実に進めて参ります。

これら、新たな社会の要請に対応していくためには、様々な工夫や対応が求められます。とりわけ空調衛生分野で先導的な役割を担い、各種ノウハウを培われてきた皆様の果たすべき役割もますます大きくなっているものと考えております。今後も建築設備を取り巻く環境の変化に対応し、技術力を大いに発揮して頂けるものと期待しております。

最後になりますが、空調衛生工事の重要な担い手である皆様のこれまでのご尽力・ご活躍に敬意を表しますとともに、今後とも業界がより一層発展することを期待し、また、貴協会並びに会員の皆様にとって本年が更なる飛躍の年となることを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和8年新年交礼会

賑やかに「丙午」スタート



年頭の挨拶を述べる北村会長



来賓挨拶をされる頼本営繕部長(左)と松尾設備課長(右)

令和8年新年交礼会は、1月14日午後6時からスイスホテル南海大阪で関係官公庁・団体、近畿各府県空衛協会からご来賓をお迎えし、約330名の参加者で開催しました。

北村広外志会長は年頭挨拶で、冒頭、青森県東方沖地震や島根・鳥取地震等で被災された方々にお見舞いを申し上げ、「昨年は、明るいニュースの一方で、熊による多発する被害や例年に比べ長い酷暑となり、わが国でも2050年カーボンニュートラルに向け更なる省エネ化への取組みが急務。」と述べました。

さらに、北村会長は、「一昨年4月からの時間外上限規制を踏まえ、特に現場での一層の生産性向上による働き方改革を進めるとともに、適正工期の確保、長時間労働の是正、適正な労務費の確保等に向け、関係団体と共に発注者等に要請を継続していく。」と述べるとともに、「今後も協会活動の活性化と業界の更なる発展に取り組んでまいります。」と挨拶しました。

ご来賓の国土交通省近畿地方整備局営繕部長・頼本欣昌様は、祝辞の中で、昨年10月に大阪・関西万博が成功裏に閉幕し、「2050年カーボ

ンニュートラルの実現に向け、新築事業は原則ZEBOriented相当以上を目指す。」との取り組みを示されました。また、「昨年12月の改正建設業法等の全面改正に伴い、営繕工事の内訳書に労務費等の記載を追加するとともに、単位施工単価の導入を開始」との取組を披露するとともに、「建築設備分野で先導的役割を担い、各種ノウハウを蓄積した皆様の技術力に大いに期待するとともに、その果たすべき役割も益々大きくなっている。」と挨拶されました。



「丙午」の門出を祝って乾杯する城口副会長



年賀の挨拶を交わしながら和やかに交歓

また、ご来賓の大阪府都市整備部住宅建築局公共建築室設備課長・松尾博司様は、初めに大阪・関西万博の成功裏の閉幕を述べ、「ZEB化推進方針により府有施設の新築の場合、原則 ZEBReady 相当以上の整備を行う。」との取組が示されました。

また、府として、「建築物の省エネ化等に効果的な ESCO 事業では、府内計24市町村において実施済。府発注工事では、来年度から完全週休2日を目指すとともに猛暑日を考慮しての工期を設定予定。」との取組を披露するとともに、「省エネの更なる推進に向けては、皆様のノウハウ、技術力が不可欠なので、貴協会に大いに期待する。」と挨拶されました。

城口俊雄副会長の「カンカン乾杯」の発声で杯を上げたあと、祝電が披露され、賑やかに交歓しながら新年の挨拶を交わしました。

最後に中川修副会長の音頭で一丁締めを行い、交歓会を終えました。



閉会の辞を述べる中川副会長

目空衛 第30回全国会議



挨拶する藤澤会長

日本空調衛生工事業協会（目空衛 会長 藤澤一郎氏）の第30回全国会議が令和7年10月30日に富山県富山市のANAクラウンプラザホテル富山で約300名が参集し開催された。藤澤会長は、冒頭、「総じて民間設備投資は旺盛で比較的堅調な業績が維持」と業界を取り巻く状況を説明。一方で、「現場で働く技能労働者不足は深刻。そのため、処遇改善を図りつつ外国人材の活用と共に施工現場の省力化を進める必要がある」と訴えた。

また働き方改革の推進に向け、建設業4団体が展開する「目指せ！建設現場 土日一斉閉所運動」に参画したことや、元請け団体に対して12月に日本電設工業協会と共同で3回目の要請活動を

富山県富山市に全国から約300名参集

行うことなど、2024年の全国会議で公表した中期ビジョン「目空衛2025」に基づく具体的な取組を報告した。

ご来賓を代表して国土交通省北陸地方整備局の高松諭局長が挨拶した。

その後、富山大学の酒井秀紀理事・副学長が『「薬都とやま」の歴史と現在』と題して、講演した。

続いて、アルハイテック株式会社の山村賢志執行役員企画営業部長兼グローバル事業推進室長が『アルミ水素で、かがやくみらいへ～廃アルミによる循環型社会への挑戦』と題して、同社の取組を紹介した。

最後に、ジオリブ研究所の巽好幸所長が登壇し、『富山のすしは何故美味い？～美食地質学で探る美味さのヒミツ』をテーマに講演した。

会議の後小憩し、立食方式の懇親会が開かれ情報交換・意見交換が行われた。



会議風景

第15回配管技能コンテスト開催

技能者、学生・生徒計36名が腕を競う

学生の部 高校生・菅田ひらりさん優勝

大阪空気調和衛生工業協会（会長北村広外志）主催の第15回配管技能コンテストが9月27日、大阪府東大阪市の府立東大阪高等職業技術専門校で開催され、一般技能者、高校生合わせて36名が腕を競った。

このコンテストは、次代の優秀な技能者の育成をめざし、全国の空調衛生設備団体の中で唯一、同協会が実施しているもの。協会のコンテスト実行委員会が運営に当たったほか、布施工科高校など多くの教諭が審査委員・審査補佐員としてバックアップした。

一般の部 高野恵氏が接戦を制し栄冠



若林副会長による開会挨拶



学生の部上位入賞者（前列）



一般の部上位入賞者（前列）



学生の部優勝・菅田さん



一般の部優勝・高野氏



競技の様子（学生の部）



競技の様子（一般の部）

開会式で挨拶に立った若林副会長は、学校や関連団体など運営関係者の協力にお礼を述べ「全国でも唯一のものであり参加した各自の技術力が切磋琢磨され向上されることを願い持てる力を十分に発揮し素晴らしい作品が出来る事を期待する」と激励した。

コンテストには現場の第一線で活躍する技能者23名（一般の部）、建築設備関連の学科を履修中の布施工科高校、東住吉総合高校、彦根工業高校の学生・生徒13名（学生の部）が参加。一般の部では1級配管技能士検定レベル、学生の部では同3級レベルの課題作品制作に挑戦した。

作品はサイズ誤差、出来栄え、水圧試験による漏れ検査などで審査され、学生の部では滋賀県立彦根工業高等学校の菅田ひらりさんが見事優勝に輝き、大阪府知事賞を受賞、大阪府商工労働部雇用推進室人材育成課産業人材育成グループ課長補佐・尾上律子氏からご挨拶のあと、同賞が手渡された。

準優勝は大阪府立布施工科高等学校の三國晴君が獲得し、以下、3位・菅村芽生さん（滋賀県立彦根工業高等学校）、4位・中島蓮太郎君（滋賀県立彦根工業高等学校）、5位・深美遥斗君（大阪府立布施工科高等学校）が受賞した。

布施工科高校の中井宏典校長より、学生の部の参加者に激励と期待のご挨拶があった。

一般の部では高野設備の高野恵氏が優勝し、大阪府職業能力開発協会会長賞が授与された。準優勝は(有)新栄の岡本将光氏、3位・森山道盛氏（株ツカサ）、4位・伊藤裕介氏（株ツカサ）、5位・杉山貴宏氏（三和工業株）がそれぞれ受賞した。

競技終了後に行われた表彰式で大野貴史審査委員長（東住吉総合高校教諭）は学生の部について「上位はいずれも減点が少なく、非常に接戦だった」と講評し、一般の部についても「上位は僅差の戦いとなり、優勝者は減点がなく完成度の高い作品だった」と評価し、「学生もプロの技術をまじかに見ることができていい経験になった」と講評した。

また、挨拶に立った同協会の三宅実行委員長は「現場を支えているのは熟練技能者であり、これからはさらに技術を磨いてほしい。当協会も、このコンテストを通じて、熟練技能者の育成、後継者の育成に寄与していきたい。」と総括し、参加者にエールを送った。

配管技能コンテストに参加して

☆☆ 優勝 (大阪府知事賞) ☆☆

滋賀県立彦根工業高等学校

菅田 ひらり



私が配管コンテストに出場することとなったのは、学校での配管実習やインターンシップでお世話になった設備会社での配管加工の経験から先生に声をかけていただいたことがきっかけです。コンテストの出場が決まり練習がスタートしましたが、いざ一人で作業を行うと、ねじ切りの精度や切断の長さが仕上がりの寸法に大きく響くことやロウ付けの難しさを実感しました。負けず嫌いな性格の私は練習に精度と出来栄を意識して誰よりも練習に励みましたが、大会前日まで納得のいく精度にならず、心配と不安の中大会に臨むことになりました。

大会当日も今までと違った会場であることや学生、一般の社会人の方々の多さに圧倒されました。作業が始まり他の学校の高校生の手際の良さを見て緊張も大きくなりました。しかし、これまでみんなと頑張った練習を思い出し、サポートしてい

ただいた講師の先生や担当の先生、仲間、家族の応援を胸に作業に向き合い最後まで諦めず作業を行うことができました。正直、完成直後は完成できたという安堵感で一杯でしたが、私の中では精一杯やり切ったと思える出来栄となり、順位発表の最優秀賞で私の名前が呼ばれたときは始めて達成感を感じることができました。

私は今回の経験で配管加工の難しさや楽しさを知り、一つの事に一生懸命になる大切さや、仲間と一緒に目標に向かう楽しさを知ることができました。この経験を活かし今後も何事も一生懸命にチャレンジを続けていきます。コンテストに関わっていただいた多くの関係者の皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

☆☆ 準優勝 ☆☆

大阪府立布施工科高等学校 三國 晴

今回の配管コンテストは、リベンジであると同時に負けられないものでした。それは、一年前に同じ場で経験した苦い思いがあったからです。去年の僕は、切断ミスに判断ミスも重なり、漏水を起こしました。

ただ、後の分析でけがき方法の問題に気付き、改善に繋がられました。加えて、今年は技能五輪に代表選手として出場させて頂く身、ミスは許されないと気を引き締めての参加でした。

そして迎えた当日、普段通りの力を出そうという一心に、目の前の材料と工具に向き合いました。何より、楽しむことが出来ました。

優勝にはあと一步の所で届きませんでしたが、更に改善点を見つけられました。

より一層強くなった向上心を強みに、今後も努力していきます。

☆☆ 3 位 ☆☆

滋賀県立彦根工業高等学校

菅村 芽生

配管コンテストに向けた練習は、夏休み期間を利用して行いましたが、作業場はとても暑く、暑さとの闘いでもありました。そのような過酷な環境の中で、初めは誤差もありました。しかし、講師の先生や担当の先生と一緒に誤差の起こる理由を考えたり、コツを教えていただいたり、諦めず練習を重ねるうちに作業時間も短縮され、平均的に誤差も少なくすることができ、自信をもって本番に向かうことができました。

大会では普段と違う雰囲気緊張もありましたが、練習で教わったことを思い出し、最後まで集中して取り組むことができました。目標としていた最優秀賞を受賞することはできませんでした



が、練習の成果を出し切り3位入賞ができ、緊張から解放されました。

高校入学後これほど努力したことはなく、今回の経験は私にとってとても良い思い出となり、今後につながる大きな自信となりました。今回の経験を今後の高校生活やこの先の進路に活かしていきます。大会に関わってくださった皆様への感謝を忘れず、次の配管技能検定に向けて頑張ります。

☆☆ 4 位 ☆☆

滋賀県立彦根工業高等学校

中島 蓮太郎

配管コンテストに向けた練習を通して、多くの事を学びました。練習を始めた頃は工具の扱いに慣れず、思うように作業を進めることができませんでした。しかし、練習を重ねるうちに工具の扱いにも慣れ、少しずつ精度が上がり、自分の成長を実感できるようになりました。本番では緊張はあったものの、これまで積み重ねてきた練習を思い出し、落ち着いて作業に取り組むことができました。結果として4位入賞ができ、大きな自信にもつながりました。この経験を通して、最後まで諦めずに挑戦する姿勢の大切さを学ぶことができ



ました。配管作業で身につけた知識や技術は将来建設の仕事を目指す自分にとってとても大きな経験となりました。この思いをこれからの学校生活や将来の進路にも活かしていきたいです。

最後に、コンテストに向けてサポートしていただきました講師の先生や担当の先生、家族や仲間への感謝を忘れずに、これからも技術を高めたいと思います。

☆☆ 5 位 ☆☆

大阪府立布施工科高等学校 深美 遥斗

2年生から配管作業について学びました。昨年度の配管コンテストに参加しましたが、入賞はできず、同じクラスの友達が入賞をしたので、負けられないと思い、技術を磨きました。技能五輪の予選にも挑戦しましたが、結果を出すことができず、先生方の期待に応える事ができませんでした。

3年生になり、技術を磨くために、配管を中心に学ぶことにしました。週1回3時間、コンテ

ストへ向けて、練習を行いました。今まで悔しい思いばかりだったので、「今回こそは！」と思い、大会に挑みました。自分の中では完璧に作る事ができ、5位で名前を呼ばれた時は、とても嬉しかったです。最後に、1月にある検定で2級に合格して、指導して頂いた先生方へ恩返しをしたいと思います。

令和7年度

安全衛生大会を開催



令和7年度安全衛生大会を昨年10月7日に大阪市西区の建設交流館8階グリーンホールで開催しました。

優良工事現場を表彰するとともに安全講話を聴講し安全衛生・労働衛生を誓い合いました。

大会は関係官公庁や友好団体から多数のご来賓をお招きし約240名が出席。最初に業界でこの1年間に不幸にも事故などで亡くなられた方々に対して黙祷をささげご冥福をお祈りしました。冒頭挨拶で北村広外志会長は「建設業の死亡災害は増加しており、その要因は墜落・転落が最も多く、その防止に向けた対策の強化が急務。また高年齢労働者に対する労災防止措置が来年4月から努力

義務になるので細心の配慮をお願いする。」と呼びかけました。

続いて、大阪中央労働基準監督署の安全衛生課長・高野清司様から来賓挨拶をいただきました。高野様は、「高齢者等の健康疾患が増加していることから、メンタルヘルス等の強化をお願いするとともに、誰もが安全・安心に健康に働ける職場づくりを進めてほしい。」と挨拶されました。

このあと、安全衛生優良工事現場の表彰式に移り、優良事業所17社を表彰しました。

受賞者代表が、北村会長から表彰状を受け取り、同代表が『安全の誓い』を力強く読み上げました。

引き続き、参加者全員で労働安全スローガン『多



挨拶を述べる北村会長



来賓挨拶される高野安全衛生課長

様な仲間と築く安全未来の職場』と労働衛生スローガン『ワーク・ライフ・バランスに意識を向けてストレスチェックで健康職場』を唱和して作業の安全を誓い、大会第一部を終了しました。

小憩の後、第二部の特別講演に入り、気象予報士/防災士の正木明氏が、「天気予報の正しい見方・使い方～自然災害から自分の身を守るために」と題して講演されました。

最後に、福地労務委員長が閉会の辞を述べ、大会を終えました。



会長より工事表彰



受賞者代表による「安全の誓い」



安全スローガンの唱和



特別講演される正木明様



閉会の辞を述べる福地労務委員長

表彰会社名 (17社)

浦安工業株式会社大阪支店	鳳工業株式会社	クウケン株式会社
敷島煖房工業株式会社	主計管工株式会社	新菱冷熱工業株式会社西日本事業部
大晃設備株式会社	ダイダン株式会社大阪本社	株式会社日設関西支店
株式会社一二三工業所	株式会社不二設備工業所	不二熱学工業株式会社
株式会社前田商会	株式会社マサキ設備	丸住株式会社
柳生設備株式会社	若林設備工業株式会社	

官公庁との懇談会

国土交通省近畿地方整備局営繕部

(一社) 日本空調衛生工事業協会近畿支部は、昨年12月4日、シティプラザ大阪で国土交通省近畿地方整備局営繕部との懇談会を開催し、歩掛の見直し、材料と労務費を分けた数量表、労務費に関する基準の検討状況、BIM への取組状況等について質疑応答を行った。

今回の第21回懇談会には国交省から6人、近畿支部から13人が出席。歩掛の見直し及び材料と労務費を分けた数量表についての質問に、国交省側から「営繕工事における材料等の歩掛に関する実態調査を実施中。本省において労務費ダンプ調査における材料と労務費の内訳明示を検討中。」との取組みが示された。また、労務費に関する基準の検討状況については、「中央建設業審議会において労務費等を内訳明示した見積書の提出の促進、本基準を著しく下回る見積もり・契約への指導・監督等について検討中。」との取組みが示された。BIM への取組状況については、「国の建築 BIM 推進会議で来年春から BIM 図面審査の制度が運用予定。今後、貴業界の取組状況を踏まえ、官庁営繕事業での BIM 活用の取組について検討予定。」と回答があった。その他、年度初めの発注案件の情報開示については、「本整備局のホームページの発注・入札情報サイトに工事名・工事種別・工事場所・工事発注規模・工期等を公表しているの、活用されたい。」との説明があった。



大阪府都市整備部住宅建築局公共建築室設備課

(一社) 大阪空気調和衛生工業協会は、昨年11月20日にシティプラザ大阪で大阪府都市整備部住宅建築局公共建築室設備課との懇談会を開催し、猛暑日を設定した工期設定、工事の難易度による工事費の割増他、年度初めの発注案件の情報開示等について質疑応答を行った。

懇談会には大阪府から4人、大空衛から10人が出席。猛暑日を設定した工期設定について、大阪府からは「全発注案件について、過去の気象情報を基に算定した猛暑による作業不能日数を考慮した工期設定としている。」との回答があった。工事の難易度による工事費の割増他について、「国の積算基準に基づき、施工面を考慮した積算を行っていると考えており、工事費の割増は困難。」との見解を示した。年度初めの発注案件の情報開示については、「大阪府電子契約ポータルサイトの発注計画から工事場所、工事金額規模、工事概要、発注時期、工事期間等が検索可能。」との回答があった。その他、府の発注方式については、一括発注がやむを得ない案件を除き、分離発注を原則とするとの説明があった。このほか、大阪府からの質問や報告事項について、意見・情報交換した。



賛助会員「新技術・新商品説明会/懇親会」開催



新技術・新商品説明会の模様（円内は挨拶する綾目経営委員長）

令和7年11月6日に大阪市北区のハービスENTオフィスタワー9階会議室で賛助会員による新技術・新商品説明会を開催しました。説明会のあとには会員・賛助会員が交流する懇親会も開いて親睦を深めた。

説明会には賛助会員から新技術・新商品紹介として8社が参加、会員・賛助会員合わせて74名が出席。武田経営委員による司会で説明会を開会し、

冒頭、当協会の綾目圭志経営委員長から、「本交流懇親会は、平成29年から実施し今回で9回目の開催となります。今回は8社様から応募があり

新技術あるいは新商品でなければと躊躇されている賛助会員がおられるかもしれませんが、これまでの蓄積された技術で有ったり、これまでの商品のバージョンアップといったものも説明の対象に成りますので、ふるって応募していただきたい」と述べた。

説明会は、別表のプログラムにより、前半の部では、4社から説明の後、小憩。後半の部では、4社から説明があった。

懇親会で和やかに交歓

説明会のあと、会員・賛助会員合わせて60名が参加の交流懇親会をハービスOSAKA 6階「ガーデンシテイクラブ大阪」で催した。冒頭、北村会長から挨拶の後、乾杯の発声があった。

各テーブルでは名刺交換しながら賑やかに交流し、閉会にあたって、当協会の綾目圭志経営委員長は、新技術・新商品を説明した賛助会員と参加者へお礼を述べ威勢よく一本締めを行い散会した。



懇親会で挨拶する北村会長



交流懇親会風景

【説明会プログラム】

No	会社名	新技術・新商品（概要）
1	(株)川本製作所	<p>●災害時協力井戸・防災井戸及び手押しポンプ</p> <p>昨今、地震等の自然災害が増える中、住まいに関する【レジリエンス】を考える必要があります。</p> <p>弊社としては、＜井戸＞に着目し、日常生活においてはもちろん、万が一の災害時においても電力を必要とせずに生活用水を確保でき、自治体への登録によってお住まいの地域社会に貢献する防災井戸と手押しポンプです。</p>
2	イシグロ(株)	<p>●ELフラット・インシュレーション（結露防止吊りバンド）</p> <p>合成樹脂による発砲構造 スムーズ配管施工・スピード保温施工を実現 保温筒の厚さ 20T～50T 保温厚毎の使い分け必要なし。</p>
3	因幡電機産業(株)	<p>●省施工製品</p> <p>①省施工吊りバンド【ホールドワン】 →簡単、確実、安心のスピード施工</p> <p>②タイカXシリーズ【耐火クロスカバー I K X】 →衛生配管の防火区画貫通措置部材。 モルタル埋戻し不要で工期短縮。</p>
4	(株)LIXIL	<p>●洗面器・手洗器用自動水栓「加温自動水栓（瞬間式）」</p> <p>加温自動水栓とは、必要なときだけ「ちょうどいい水温」まで加温して供給するLIXILならではの手洗いシステムです。</p> <p>タンクレスの瞬間加温式なので省エネはもちろん、設置から管理までも簡単な自動水栓です。</p>
5	リンナイ(株)	<p>●業務用ガス給湯器マルチシステム</p> <p>利便性・施工性・経済性に優れた業務用ガス給湯器は、現場に合わせやすいマルチ性とパワフルな給湯能力で、近年ではボイラーに代わる熱源機として選ばれています。</p> <p>・需要増加に合わせてリンナイはより『扱いやすさ』と『管理しやすさ』にこだわった商品です。</p>
6	川重冷熱工業(株)	<p>●蒸気ボイラ</p> <p>1) 潜熱回収型小型貫流ボイラ WILLHEAT 2) 水素混焼焚き 大型貫流ボイラ Ifrit 3) 水素専焼 小型貫流ボイラ WILLHEAT</p>
7	住友商事マシネックス(株)	<p>●気化式脱臭装置「爽」</p> <p>消臭液を気化させ、臭気と接触することで中和分解反応を引き起こし、臭いの元から脱臭させる装置です。</p>
8	TOTO(株)	<p>●新商品ネオレスト LS-W/AS-W に新搭載の「便スキャン」</p> <p>「便スキャン」は、人々の「健康に寄り添う」新たな価値を提案します。スマートフォンアプリ「TOTO ウェルネス」で毎日の便の状態や傾向、リコメンドなどを表示するシステムです。</p>



(株)川本製作所による説明



イシグロ(株)による説明



因幡電機産業(株)による説明



(株)LIXILによる説明



リンナイ(株)による説明



川重冷熱工業(株)による説明



住友商事マシネックス(株)による説明



TOTO(株)による説明



第一部閉会の辞の辻経営副委員長



司会進行の武田経営委員

衛生設備ニュース 07

sanitary accommodations news 2025.jul

No.045

機器 給水 給湯 排水
 器具 消火 ガス 環境 他

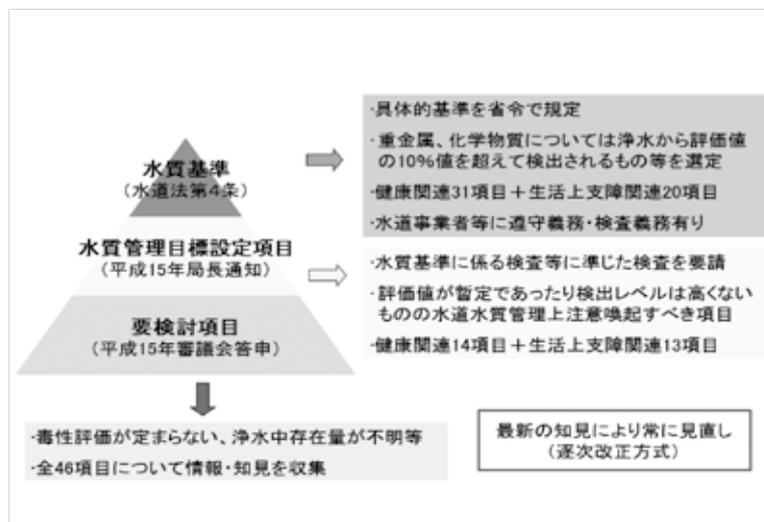
一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会

水道水質基準の改正の経緯について

水道水の水質基準とその改正等について、環境省のホームページより概要をお知らせします。

1. 水道水の水質基準について

水道水の水質基準は水道法第4条に基づく水質基準以外にも、水質管理上留意すべき項目や、毒性評価が定まらない物質等の検討項目の情報・知見の収集に努めています。



2. 最近の改正内容

衛生設備ニュースNo.034以降の改正を記載。

改正時期	改正内容	検討経緯
令和3年4月1日 適用	○水質管理目標設定項目 ・農薬類の対象リスト中、「カルボフラン」、「ベンフラカルブ」の目標値の見直し 詳細は、令和3年3月26日「水質基準に関する省令の制定及び水道法施行規則の一部改正等について」の一部改正についてを参照	厚生科学審議会生活環境水道部会（令和3年3月17日）において審議された。
令和4年4月1日 適用	○水質管理目標設定項目 ・農薬類の対象リスト中、「ホスチアゼート」の目標値の見直し ・対象リストに「イプフェンカルバゾン」を追加 ・「メテダチオン」について、オキソソンの濃度も合計して算出 詳細は、令和4年3月31日「水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法の一部改正等について（施行通知）」を参照	厚生科学審議会生活環境水道部会（令和3年12月15日）において審議された。
令和6年4月1日 適用	○水質管理目標設定項目 ・農薬類の対象リスト中、「パラコート」の目標値の見直し 詳細は、令和6年3月21日「水質基準に関する省令の制定に基づき厚生労働大臣が定める方法の一部改正及び「水質基準に関する省令の制定及び水道法施行規則の一部改正等について」の一部改正について（施行通知）」を参照	厚生科学審議会生活環境水道部会（令和6年2月20日）において審議された。

水道水の水質基準項目と基準値（51項目）

（令和2年4月1施行）

項目	基準値	項目	基準値
一般細菌	1mlの検水で形成される集落数が100以下	総トリハロメタン	0.1mg/L以下
大腸菌	検出されないこと	トリクロロ酢酸	0.03mg/L以下
カドミウム及びその化合物	カドミウムの量に関して、0.003mg/L以下	ブロモジクロロメタン	0.03mg/L以下
水銀及びその化合物	水銀の量に関して、0.0005mg/L以下	ブロモホルム	0.09mg/L以下
セレン及びその化合物	セレンの量に関して、0.01mg/L以下	ホルムアルデヒド	0.08mg/L以下
鉛及びその化合物	鉛の量に関して、0.01mg/L以下	亜鉛及びその化合物	亜鉛の量に関して、1.0mg/L以下
ヒ素及びその化合物	ヒ素の量に関して、0.01mg/L以下	アルミニウム及びその化合物	アルミニウムの量に関して、0.2mg/L以下
六価クロム化合物	六価クロムの量に関して、0.02mg/L以下	鉄及びその化合物	鉄の量に関して、0.3mg/L以下
亜硝酸態窒素	0.04mg/L以下	銅及びその化合物	銅の量に関して、1.0mg/L以下
シアン化物イオン及び塩化シアン	シアンの量に関して、0.01mg/L以下	ナトリウム及びその化合物	ナトリウムの量に関して、200mg/L以下
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L以下	マンガン及びその化合物	マンガンの量に関して、0.05mg/L以下
フッ素及びその化合物	フッ素の量に関して、0.8mg/L以下	塩化物イオン	200mg/L以下
ホウ素及びその化合物	ホウ素の量に関して、1.0mg/L以下	カルシウム、マグネシウム等（硬度）	300mg/L以下
四塩化炭素	0.002mg/L以下	蒸発残留物	500mg/L以下
1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下	陰イオン界面活性剤	0.2mg/L以下
シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	ジオスミン	0.00001mg/L以下
ジクロロメタン	0.02mg/L以下	2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/L以下
テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	非イオン界面活性剤	0.02mg/L以下
トリクロロエチレン	0.01mg/L以下	フェノール類	フェノールの量に換算して、0.005mg/L以下
ベンゼン	0.01mg/L以下	有機物(全有機炭素（TOC）の量)	3mg/L以下
塩素酸	0.6mg/L以下	pH値	5.8以上8.6以下
クロロ酢酸	0.02mg/L以下	味	異常でないこと
クロロホルム	0.06mg/L以下	臭気	異常でないこと
ジクロロ酢酸	0.03mg/L以下	色度	5度以下
ジブロモクロロメタン	0.1mg/L以下	濁度	2度以下
臭素酸	0.01mg/L以下	(空白)	(空白)

衛生設備ニュース 11

sanitary accommodations news 2025.Nov

No.046

機器 給水 給湯 排水
 器具 消火 ガス 環境 他

一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会

クロスコネクションについて

クロスコネクションとは、水道水を供給する管（給水管）と水道水以外の管（井戸水・工業用水など）が直接連結されている事をいいます。

また、バルブ等を設け、蛇口から出る水を水道水と水道水以外の水を切り替えて使用できるようにされている場合もクロスコネクションに該当します。

給水管と水道水以外の管がつながっていると、井戸水や工業用水などが誤って配水管に流入し、飲料水として適さない水が近隣周辺に流れてしまう可能性があります。

■クロスコネクションされやすい「水道以外の管」の例

- ・井戸水、湧水、工業用水、農業用水、再生利用水の配管
- ・受水槽以降の配管
- ・プール、浴場等の循環用の配管
- ・水道水以外の給湯配管
- ・ポンプの呼び水配管、冷却水配管
- ・雨水管、その他排水管

■クロスコネクションが禁止されている理由

給水管と水道水以外の管が接続されていると、バルブの故障や操作不良などにより井戸水等が配水管に逆流するおそれがあります。この逆流した水が汚染されていた場合、近隣周辺は飲料として適さない水を飲んでしまうことになります。

水道水の汚染を防止し、安全性を確保するという公衆衛生上の観点により、クロスコネクションは関係法令により禁止されています。

■関係法令

水道法

- ・第16条（給水装置の構造及び材質）

水道事業者は、当該水道によって水の供給を受ける者の給水装置の構造及び材質が、政令で定める基準に適していないときは、供給規定の定めるところにより、その者の給水契約の申請を拒み、又はその者が給水装置をその基準に適合させるまでの間その者に対する給水を停止することができる。

水道法施行令

- ・第6条第1項

法第16条の規定による給水装置の構造及び材質は、次のとおりとする。

第6号 当該給水装置以外の水管その他の設備に直接連結されていないこと。

■クロスコネクションの対策事例 (パイプの色分けによる識別)

エスロハイパー-AW・エスロハイパー-AW HPを用いた クロスコネクション対策の 配管識別ご提案



こんなお困り事ありませんか？

エスロハイパー-AWのみの配管だと…
系統がわからない…
誤接続したかも？

配管例



エスロハイパー-AW HPを組み合わせると…
パイプが色分けされて
わかりやすい！

給水系統 エスロハイパー-AW 中水・再生水系統 エスロハイパー-AW HP

配管例

最高許容圧力
1.0MPa以下で
ご使用ください！



エスロハイパー-AW HP呼び径65,125,200の品揃え拡充により
エスロハイパー-AW HPのスカイブルー色と
エスロハイパー-AWのブルー色を組み合わせると
呼び径20~200※²で配管識別が容易になります！

NEW エスロハイパー-AW HP クロスコネクション対策品

直管		単位:mm					
呼び径	品番	長さ(L)	管外径(D)	管厚(t)	近似内径(d)	参考質量(kg/本)	梱包数(本)
65	TP655	5000	76.0	7.0	61.1	7.7	2
125	TP125	5000	140.0	12.8	112.9	25.9	1
200	TP200	5000	216.0	19.7	174.4	61.3	1

(備考)呼び径200は受注生産品です。

※上記はパイプのみの品揃えのため、1.0MPa以下でご使用ください

※出典：積水化学工業ホームページ エスロンタイムズ

<https://www.eslontimes.com>

空調設備ニュース 09

air conditioning news 2025.Sep

No.048

□ 機器 ■ ダクト □ 配管 □ 換気
□ 排煙 □ 自動制御 □ 他

一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会

ダクトの種類と特徴について

○ダクトの主な材質と特徴

1. 金属製ダクト

1) 亜鉛めっき鋼板ダクト

- ・概要：亜鉛鉄板とも呼ばれる最も一般的なダクト
- ・用途：商業施設、オフィスビルなど広範囲の空調換気、排煙に対応
- ・長所：軽量で施工性が高くコストバランスに優れる
- ・短所：屋外や湿気の多い場所では腐食対策が必要

2) ステンレス鋼板ダクト

- ・概要：耐食性、耐熱性に優れたダクト
- ・用途：クリーンルーム、厨房排気、多湿環境下に適する
- ・長所：表面が滑らかで光沢感があり、清掃性・美観に優れる
- ・短所：高価で加工には専門技術が必要

3) ガルバリウム鋼板ダクト

- ・概要：鉄板にアルミニウムと亜鉛の合金めっきを施したダクト
- ・用途：湿度が高い環境や屋外、塩害地域に対応
- ・長所：亜鉛めっき鋼板より耐久性、防錆性が高い
- ・短所：傷や水溜まりに弱く、錆や腐食の原因となるため注意が必要

4) 塩ビライニングダクト

- ・概要：鋼板の両面に塩化ビニルをライニングしたダクト
- ・用途：薬品工場などの腐食性ガスや湿気の多い場所の排気に適する
- ・長所：耐薬品性が高い
- ・短所：耐熱温度が低く、施工時のライニング損傷に注意が必要

2. 非金属製ダクト

1) 塩ビダクト

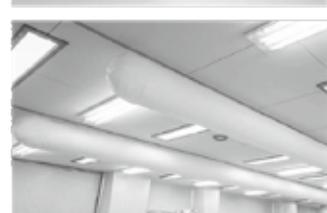
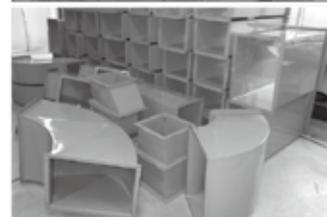
- ・概要：塩化ビニル樹脂(PVC)で製作されたダクト
- ・用途：薬品工場などの腐食性ガスや湿気の多い場所の排気に適する
- ・長所：耐薬品性が高い
- ・短所：耐熱温度が低く、施工には専門技術が必要

2) ソックダクト(布製ダクト)

- ・概要：通気性のある特殊な布で作られた筒状のダクト
- ・用途：食品工場など衛生的で緩やかな気流を求める場所に適する
- ・長所：フィルター効果があり、軽量で脱着が容易なため清掃も簡易
- ・短所：基本的に天井設置となるため、暖房に向かない

3) グラスウールダクト

- ・概要：高密度グラスウールを主材とした、断熱性・吸音性に優れたダクト
- ・用途：オフィスや劇場などの防音が求められる場所に対応
- ・長所：一つの工程でダクト・吸音・断熱工事が完了するため、工期短縮が可能
- ・短所：湿気に弱く、強度が低い



4) ダンボールダクト

- ・概要：ダンボールの両面にアルミシートをラミネートしたダクト
- ・用途：商業施設やオフィスビルなどの一般空調ダクト
- ・長所：加工が容易で、リサイクル原料の使用や運搬の効率化により環境負荷の低減が可能
- ・短所：排煙・厨房排気・湿気が多い環境・屋外では使用できない



○不燃ダンボールダクト(ル・エコ)の紹介

■「ル・エコ」の構造

ル・エコダクトの素材は、厚紙波板を5mm+3mm+5mmと3層に重ね、両面にアルミニウム箔30μmをラミネートした構造で、不燃性・断熱性・防食性・気密性・防湿性を兼ね備えた低炭素エコ素材です。(図1参照)

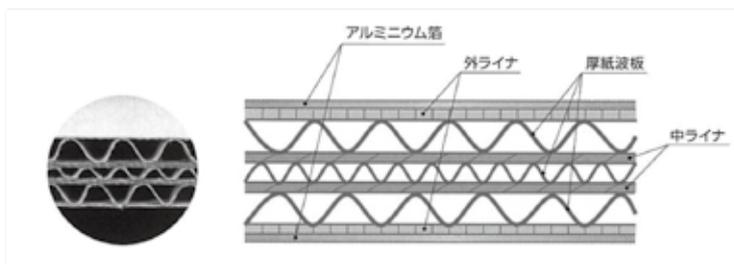


図1 ル・エコの断面構造

■「ル・エコ」の特長

- ・製造時・輸送時のCO₂排出量を61%削減可能で、環境にもやさしいリサイクル再生紙を使用したエコ素材です。(表1参照)
- ・現地組み立て式により初期形状が平板で省スペースのため、トラックなどによる運搬回数が減ります。
- ・金属ダクトにも劣らない性能を有します。(図2参照)
ダンボール材を3層構造とすることで高い断熱性を確保し、表面をアルミシートでラミネートすることで、従来ダクト(金属ダクト+保温材)と同等の気密性、不燃性、防湿性、耐圧性を確保しています。
- ・地震時など、建物の安心安全を実現
従来の金属ダクトと比較して、3分の1軽量化しているため、万が一揺れたり落下したりしても、被害を最小限に抑えます。
- ・保温材をなくし省人化
断熱性能が高く、保温工事が不要なため、大幅な省人化が可能です。

表1 従来工法とル・エコダクト工法CO₂排出量比較

(素材製造時と輸送時の排出量の比較)

従来工法 (鋼板ダクト+保温)	2000年度工法の CO ₂ 排出量	ル・エコダクト工法
16,386kg-CO ₂ 100%	製造工程時	6,374kg-CO ₂ 39%(61%削減)
+	輸送工程時	14kg-CO ₂ 11%(89%削減)
127kg-CO ₂ 100%		
↓	総CO ₂ 排出量	6,388kg-CO ₂ 39%(61%削減)
16,513kg-CO ₂ 100%		

※CO₂排出量は日本建築学会LCA設計委員会(2003.02.10版)より引用
*1 輸送トラックは4t車とし、輸送距離は片道50kmと仮定
(製造負担部単位:0.472kg-CO₂/km)
*2 ダクト60回+保温材3回の9回輸送、合計270kmで算出
*3 1回輸送50kmで算出

■基本性能

質量	1.94kg/m ²
熱伝導性能	熱貫流率 1.81W/(m ² ・K)
遮音性能	透過損失 23.3dB-A
	引張試験 21.6kg
	平面圧縮 1.54kg/cm ² (29.29kg/64mmφ)
強度性能	衝撃穴あけ試験 353kg
	破裂試験 51.5kg/cm ² 以上
透湿性能	透過量 0.38%

■使用範囲

最大風速	10m/s
静圧	-300 ~ +600Pa
ダクト内温度	10°C ~ 50°C
ダクト内温度周囲温度	0°C ~ 50°C

■不燃性能

国土交通大臣不燃認定NM-3696を取得
地方独立行政法人北海道立総合研究機構で不燃試験・評価方法に基づく発熱性試験及びガス有害性試験を行い基準値を満足しています。



図2 ル・エコの性能

※出典：山田ダンボール株式会社 <https://www.yamada-cc.co.jp/>
協立エアテック株式会社 <https://www.kak-net.co.jp/>

空調設備ニュース 12

air conditioning news 2025.Dec

No.049

機器 ダクト 配管 換気
 排煙 自動制御 他

一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会

CFD解析について

〇はじめに

CFDとは「Computational Fluid Dynamics（数値流体力学）」の略で、コンピュータを用いて流体の動きやその挙動を数値的に解析する技術のことです。流体の動きは非常に複雑であり、実験や観測だけでは詳細な挙動を把握するのが難しい場合があります。そのため、CFDを使うことで、流体の挙動を数式でモデル化し、コンピュータ上でシミュレーションを行うことができます。建築・空調分野では「室内の気流の流れ」「温度分布」「換気効率」などを可視化・評価する目的で有効活用されます。

〇空調分野におけるCFDの目的とメリット

- ・空調機・吹出口の位置を最適化できる
- ・温度ムラ・局所冷房／過熱を事前に予測できる
- ・局所排気・給気の有効性を可視化できる
- ・クリーン環境や臭気・粉塵拡散の検証に有効
- ・実測が難しい大空間（体育館・ホールなど）の事前検討が可能

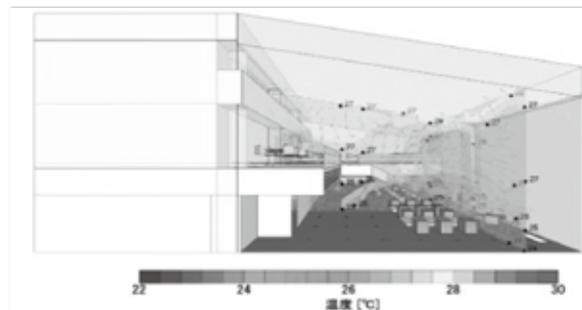


図1. CFD解析イメージ図

〇CFDの主な用途

- ・空調（冷暖房）の設計：建物内の空気の流れや温度分布を解析し、効率的な空調設計を行う
- ・自動車、航空機の設計：車や飛行機の空気抵抗、エンジン内の流れ、燃焼効率の最適化
- ・環境工学：都市の風環境、汚染物質の拡散予測、排水処理などの解析
- ・エネルギー分野：発電所の冷却システムや熱交換器の設計
- ・医療分野：血流解析や呼吸器の気流解析

〇CFDシミュレーションの流れ

1. 3Dモデル作成：解析対象の形状を3Dモデルとして設計。BIMデータを取り込む事も可能。
2. メッシュ作成：流体領域を細かい格子（メッシュ）で分割して、数値計算を行う単位を作る。
3. 条件設定：流体の性質（密度、粘性など）、境界条件（速度、圧力など）、温度条件等を設定。
4. シミュレーション：コンピュータ上で数値計算を行い、流体の挙動を解析。
（安定時の結果を知りたい場合は定常計算、時間変化の過程を知りたい場合は非定常計算で行う）
5. 結果の可視化：流線図（気流の流れ）、温度分布図、CO₂濃度分布などを出力。

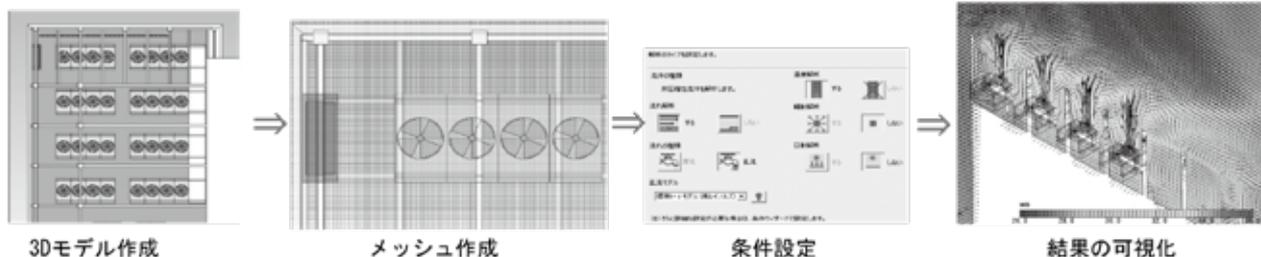


図2. シミュレーションの流れ

○空調分野におけるCFD解析一例

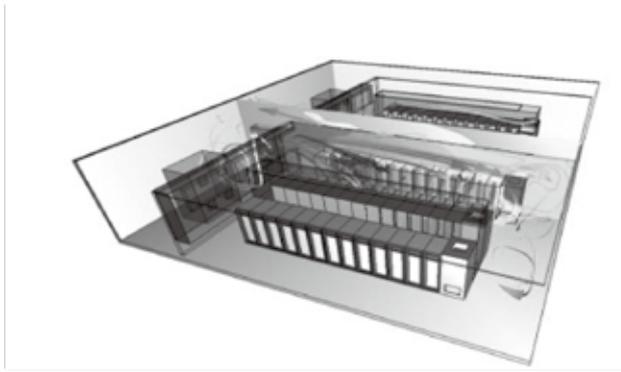


図3. サーバー室内の温度・気流予測

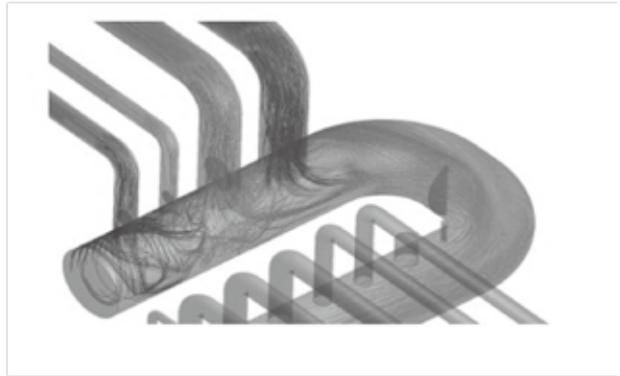


図4. 冷温水ヘッダー内の温度・流れ予測

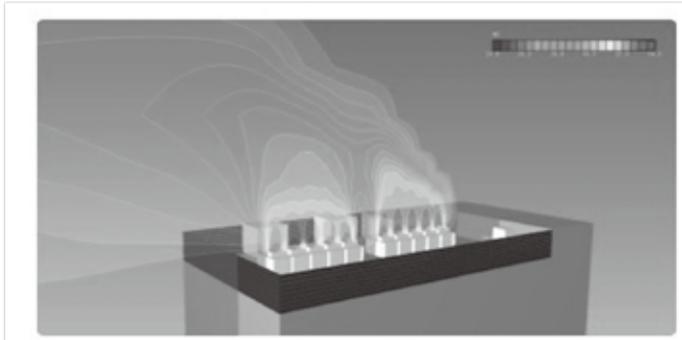


図5. 冷却塔のショートサーキット予測

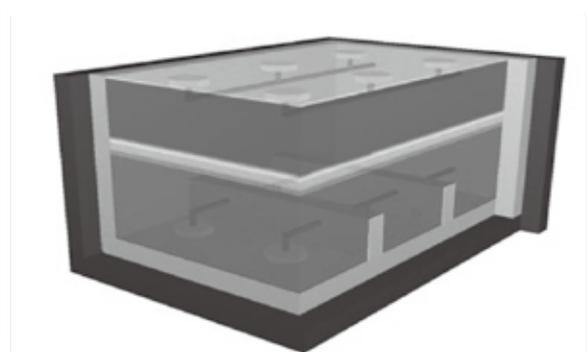


図6. 蓄熱槽の温度推移予測

○CFD導入時の注意点と課題

- ・ 入力条件（熱源・風量・境界条件等）の正確性が重要となる。初期の設定が不適切であると、結果に誤りが生じたり、信頼性が低下する可能性がある。
- ・ CFDの結果は膨大なデータとして出力され、結果を正しく可視化し、解釈するためには専門知識が必要。
- ・ 大規模なモデルや詳細なメッシュを使用すると、計算時間が長くなる場合があるため、適切なメッシュサイズや計算条件の設定が必要。
- ・ CFDは高度な技術を必要とするため、専門知識や経験を持つ人材の育成が必要。

○使用されるソフトウェア

ソフト名	メーカー名	主な用途
STREAM	ソフトウェアクレイドル	空調設計
Ansys Fluent	ANSYS, INC	空調設計、自動車の空力解析等
FLOWDesigner	アドバンスドナレッジ研究所	空調設計
STAR-CCM+	Siemens	自動車、航空機の設計
COMSOL Multiphysics	コスモル	熱流体解析、流体-構造連成解析
Autodesk CFD	Autodesk	機械設計、熱解析、気流解析

ソフトウェアホームページ

STREAM	https://www.cradle.co.jp/product/stream.html
Ansys Fluent	https://www.ansys.com/ja-jp
FLOWDesigner	https://www2.akl.co.jp/
STAR-CCM+	https://plm.sw.siemens.com/ja-JP/simcenter/fluids-thermal-simulation/star-ccm/
COMSOL Multiphysics	https://www.comsol.jp/
Autodesk CFD	https://www.autodesk.com/jp/products/cfd/overview

※出典：「新菱冷熱工業㈱」の技術資料より抜粋しています。

第43回4団体協議会を開催

処遇改善に向けた取組み、標準労務費等で意見・情報交換

当協会と関西配管工事業協同組合、近畿ダクト工事業協同組合、近畿保温保冷工業協会が構成する第43回4団体協議会が下記により開かれ、「標準労務費（労務費の基準）」、「時間外上限規制への対応」等について、意見・情報を交換しました。

- ・日時 令和7年7月28日
- ・会場 新トヤマビル3階貸会議室
- ・出席人数 13名

初めに、事務局から、処遇改善に向けた取組み及び標準労務費について、説明の後、意見が交わされました。

まず、公共工事設計労務単価は、どのように決まるのかとの質問に対し、事務局から、「国土交通省・農林水産省の公共工事の発注の際に工事費の積算に用いる単価のこと。そのため、毎年10月に公共工事に従事する労働者の賃金を都道府県別及び職種別に調査し、その結果に基づいて単価設定を行うもの。」との説明がありました。また、「サブコンに対して、見積もりを材工一式として提出しているが、今後、国から「労務費の基準」が示されれば、材料費と工賃（労務費）に分けることは可能ではないか。」との声がありました。さらに、「国による中小事業者に対する賃上げ誘導策の更なる拡大・充実が必要なのではないか。」

分離発注の現場において、建築とは別の設備事業者用の詰所、作業所等を確保できるようにしてほしい。週休二日が定着しつつある中、協力会社からそれを前提とした見積書を提出させていかどうか。」等の要望・意見がありました。

次に、「建設キャリアアップシステム」について、事務局から、説明の後、意見が交わされました。

「制度発足から5年経過しているが、加入しているメリットが感じられない。建設キャリアアップシステムは、当初、技能者の適切な処遇や人材確保等を図る目的で設立されたが、今の制度設計で、技能者の経験や技能に見合う適切な処遇を担保できるような仕組みになっているか甚だ疑問。国交省は、労務費をCCUSのランク別に明記した標準見積書の提出を専門工事業団体へ要請したが、全国ダクト工事業連合会は、対応困難として中断している。今後、技能者の経験や技能に応じた労務費の担保方策や財源を含めた議論が必要なのではないか。」といった声が上がりました。

その他として、「日空衛からの国交省等の様々な情報を、専門工事業団体にもできるだけ迅速に教示して頂ければ有難い。事務局としても、日空衛の情報をできる限り入手して、3団体へ提供してまいりたい。」といった意見交換がありました。



第43回会合

第22回 管工機材・設備総合展に協賛

大阪管工機材商業協同組合（理事長木澤利光氏）主催の「第22回管工機材・設備総合展 OSAKA2025」が9月11～13日の3日間、大阪・南港のインテックス大阪6号館Aで開催され、当協会も協賛団体として参画しました。

同展は、関西地区管材業界の一大イベントとして、隔年開催されているものです。

今回は、191企業・団体が、380小間に最新製品・技術を出展し、1万8千人を超える来場者で賑わいました。

今回は、メインテーマに「脈々（ミヤクミヤク）と未来へ継（ツ）なげ流体テクノロジー」を掲げ、各ブースでは、生産現場での省エネ、リサイクル、環境負荷軽減に貢献する環境関連機器をはじめ、様々な分野で

貢献する設備機器が幅広く紹介され、社会インフラの構築と快適環境の実現に大きな役割を果たす管材・設備機器が来場者に広くアピールしました。



テープカット 右から 3人目 城口副会長

第52回野球大会

(株)朝日工業社が4連覇



優勝 (株)朝日工業社大阪支社	準優勝 若林設備工業(株)
第3位 高砂熱学工業(株)関西支店	第4位 (株)テクノ菱和大阪支店

最優秀選手賞 (株)朝日工業社大阪支社 吉田 颯汰選手
敢闘賞 若林設備工業(株) 中山 昇 選手

第52回野球大会は、晴れ渡る秋空の下、令和7年10月21日・22日・24日の3日間にわたり、スカイランドHARADA多目的運動広場で開催されました。15チームでの熱戦が繰り広げられた結果、3年連続優勝の(株)朝日工業社が若林設備工業(株)に5対3で勝利をし4年連続の優勝を勝ち取りました。

開会式で挨拶に立った北村会長は「暑さも和らぎ、絶好の野球日和に恵まれた。くれぐれもけがのないよう精いっぱいプレーしてほしい」と参加者らに呼びかけました。このほか、優勝旗・準優勝カップの返還に続き北村会長の始球式で熱戦の火ぶたが切られました。

三日間とも、白熱した試合が展開され、好プレーのたびに拍手が沸き起こりました。24日の閉会式では、若林副会長から優勝した(株)朝日工業社大阪支社チームへ優勝旗と表彰状等が授与され、続いて準優勝、第3位、第4位のチームへ表彰状・カップ等の授与が行われました。また、(株)日刊建設通信新聞社関西支社・松浦支社長から優勝・準優勝チームへ盾が贈られました。

閉会の辞で若林副会長は「お互いの親睦を深めることを目的とした野球大会は協会の重要な行事として



北村会長挨拶



北村会長による始球式



若林副会長からトロフィーを受ける最優秀選手賞
(株)朝日工業社大阪支社 吉田 颯汰選手



若林副会長からトロフィーを受ける敢闘賞
若林設備工業(株) 中山 昇選手

今後も続けて行く」とねぎらいの言葉を述べました。

今大会も、審判及び青年部会の皆様による進行・

運営により円滑に進み、無事終了することができました。関係各位に心から感謝申し上げます。



優勝 株朝日工業社大阪支社



準優勝 若林設備工業株

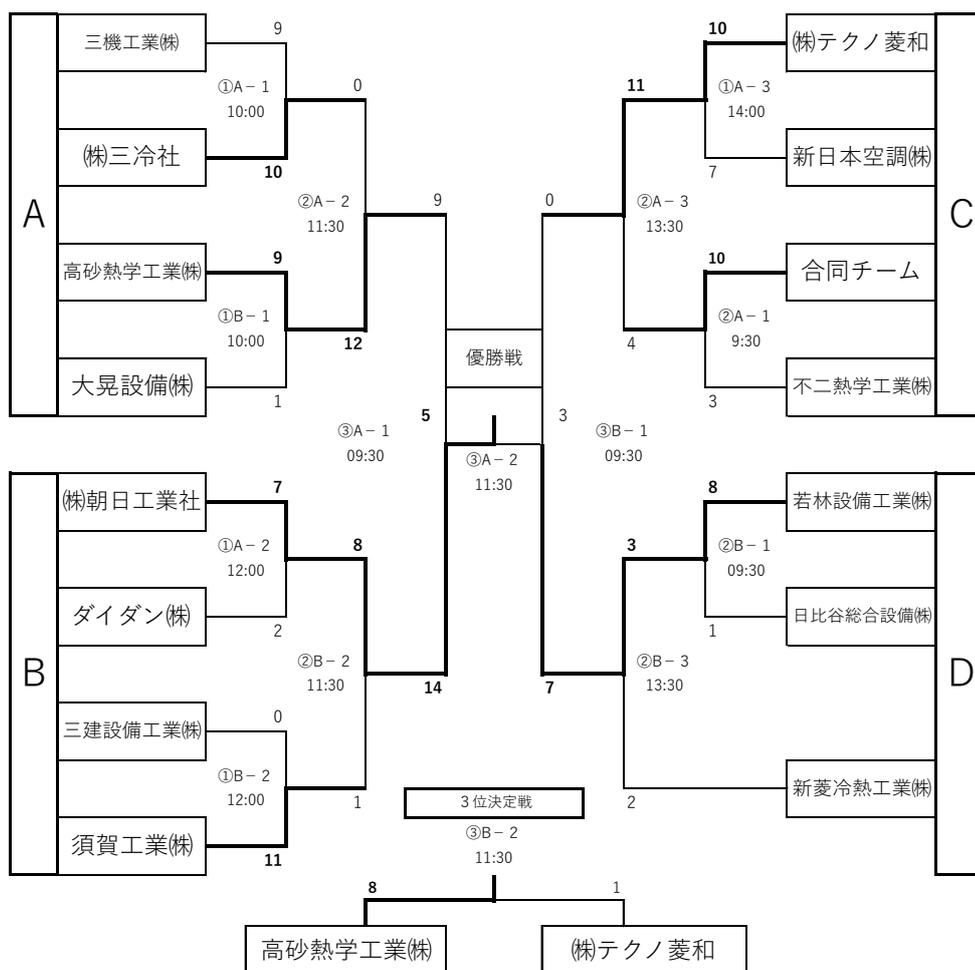


第3位 高砂熱学工業株関西支店



第4位 株テクノ菱和大阪支店

第52回野球大会組合せ表



観戦記 決勝戦

(株)朝日工業社 VS 若林設備工業(株)

(株)朝日工業社大阪支社 水野裕一

先攻 朝日工業社 VS 後攻 若林設備工業

第46回大会以来の決勝カードとなった朝日工業社対若林設備工業の最終戦。

先行は朝日工業社、後攻は若林設備工業で試合開始となった。

1回表 朝日工業社攻撃 2番四ツ永選手が内野安打で出塁すると、盗塁を決め得点圏に進みチャンスをつくる。5番吉田選手のレフト前ヒットで1点を先制する。

1回裏 若林設備工業攻撃 朝日工業社ピッチャー武田選手が立ち上がりに苦しみ、四球やワ

イルドピッチで2アウト3塁のチャンスを作ると4番谷川選手のレフト前タイムリーで1点を挙げ同点とする。

2回表 先頭の7番桑原選手がレフトオーバー3塁打を放ちチャンスを作ると1番橋本選手がセンター方向へのホームランを放ち2点を追加、3-1とリードする。

2回裏 ピッチャー吉田選手が2四球を許すも、後続を抑え無得点に終わる。

3回表 4番木原選手ヒットを放つも、若林設備工業ピッチャー吉田選手に抑えられ無得点。

3回裏 2四球、ワイルドピッチで2・3塁のチャンスを作ると、7番松本選手のサードゴロの間に2走者生還し3-3の同点に追いつく。

4回は両チームランナーを出すものの繋がらず

無得点に終わる。

5回表 4番木原選手のレフトオーバー2塁打を放つと、6番須藤選手がレフト前ヒットを打ち1点を追加し4-3とする。

5回6回と若林設備工業は3塁までランナーを進めるも得点にはつながらず。

7回表 5番吉田選手、7番桑原選手がヒットを打ち1点を追加。5-3と差を広げる。

8回裏 若林設備工業最終回の攻撃 8番中山選手がレフト前ヒットで出塁も最後は三振に倒れ5-3でゲームセット。

追いつき追いつかれを繰り返し、白熱した接戦となったが朝日工業社が逃げ切り優勝。

大会4連覇を飾った。

皆様お疲れ様でした。



観戦記 3位決定戦

高砂熱学工業(株) VS (株)テクノ菱和

須賀工業(株)大阪支社 筒井陽平

<1回表>

初回、テクノ菱和は1番・谷口選手が右中間を破るツーベースヒットで出塁します。さらに盗塁を決めてノーアウト三塁とチャンスを作ります。

続く3番・友永選手の内野ゴロの間に三塁ランナーが生還し、テクノ菱和が先制点をあげ1-0とします。

<1回裏>

高砂熱学工業は攻撃に入るも、テクノ菱和の先発・田中選手が落ち着いた立ち上がりで三者凡退に抑えます。

<2回表>

先頭の田中選手がライト前ヒットで出塁します。ワイルドピッチと内野ゴロでランナー三塁とするも、後続が連続三振に倒れ追加点となりません。

<2回裏>

4番・佐藤選手がセンター前ヒットで出塁し、すぐに盗塁成功します。5番・大山選手も出塁してチャンスを広げるが、後続が倒れ無得点に終わります。

<3回表>

ツーアウトから2番・尾崎選手がヒットで出塁するも、得点には繋がりませんでした。

<3回裏>

9番・末次選手がセンター前ヒットで出塁した

後、送りバントでランナー二塁とします。

3番・大溝選手のレフト前ヒットで同点とします。さらに4番・佐藤選手の内野安打で2-1と逆転します。

<4回表>

高砂熱学工業・中井投手のナイスピッチングで三者凡退に抑えます。

<4回裏>

先頭・佐々木選手が四球で出塁します。その後、満塁のチャンスを作り、振り逃げの間に1点、さらに押し出しで1点追加し、4-1とします。

<5回表>

テクノ菱和は立川選手が四球で出塁するも、後続が倒れ無得点に終わります。

<5回裏>

高砂熱学工業は死球と四球でチャンスを作ると、7番・村尾選手がスリーランホームランを打ち一気にリードを広げ7-1とします。

<6回表>

高砂熱学工業・中井投手の安定したピッチングが光り、この回も打者3人で片づけます。

<6回裏>

テクノ菱和はピッチャーを谷口選手に交代します。

しかし、高砂熱学工業はエラーと死球も重なり満塁となり、9番・末次選手がセンター前にタイムリーを打ち1点追加、8-1とします。

ここで規定により6回コールドゲームが成立し、高砂熱学工業が3位決定戦を制しました。

両チームの皆様、お疲れ様でした。

第19回 大空会ゴルフ大会開催

稲本氏が見事優勝

令和7年11月11日（火）に兵庫県神戸市の有馬ロイヤルゴルフクラブで42名が参加して、晴れ渡る秋空の下、第19回大空会ゴルフ大会を開催しました。

競技結果は次のとおりです。

上位入賞者（敬称略）

- ◇優勝 稲本 竜次（大熱工業株式会社）
- ◇第2位 植田 篤史（鳳工業株式会社）
- ◇第3位 須藤 亨（三神工業株式会社）



北村会長始球式



北村会長から稲本竜次様へ優勝カップ



準優勝 植田篤史様



第3位 須藤 亨様



表彰式を兼ねた食事会

青年部会・なでしこ設備会 活動だより

青年部会・なでしこ設備会合同研修会を開催

青年部会（大東一弘会長）及びなでしこ設備会（伊藤沙也香会長）は令和7年9月3日午後3時から4時30分まで大阪市西区の建設交流館で研修会（参加者:147名）を開催しました。

放送作家・漫才作家である村瀬 健様をお招きして、『テレビの世界で学んだ ジェネレーションギャップを乗り越えるコミュニケーション術』をテーマに講演いただきました。

村瀬様は世代間のギャップを各年代の立場に立って丁寧に解説され、人間関係や会話の鉄則についてご自身が関わったお笑い芸人の方とのエピソードを交え面白可笑しく講話、大変有意義な研修会になりました。



研修会風景

さらに、研修会後には会員及び賛助会員で懇親交流会を開催して、活発な情報交換をしました。



青年部会 根間委員長 開会挨拶



【講師】村瀬 健 様



なでしこ設備会 伊藤会長 閉会挨拶



懇親会風景

なでしこ設備会 施設見学会

大阪・関西万博「ウーマンズパビリオン」見学会

令和7年9月9日（火）になでしこ設備会メンバー13名で大阪・関西万博「ウーマンズパビリオン」を訪問いたしました。女性をテーマとしたパビリオンは、ドバイ万博に続くものであり、万博の歴史においても特別な存在です。

ウーマンズパビリオンでは、女性のリーダーシップや社会的な役割、そして未来を切り拓く力が表現されていました。没入型体験ゾーンでは、世界各国で活躍する女性たちのルーツや半生を追体験することで、あらゆる壁や困難を乗り越えるための勇気を与えてくれました。全体の展示を通じて「限界を決めない」というメッセージが強く伝わるとともに、共感力やしなやかさ、新しい価値を生み出す力といった“女性だからこそできる可能性”が、未来社会を豊かにしていくことを強く感じました。

また、建設にあたってはドバイ万博の際に日本館で使用された資材が再利用されており、環境負荷を抑えたサステナブルな工夫も随所に盛り込まれていました。大阪・関西万博が課題の一つとして掲げている『持続可能な開発目標（DSGs）達成への貢献』に対し、展示内容含め真摯に向き合ったパビリオンとして深く印象に残りました。

各社が携わったパビリオンにも訪れ、短工期での完成の背景にある、各社の技術力や工夫について、情報共有を行いました。移動や見学の合間に



ウーマンズパビリオン外観

は、世代を超えて和気あいあいとした会話が弾み、こうした団体での訪問ならではの一体感や懇親の時間は、なでしこ設備会の心地よさを改めて実感する瞬間でもありました。まだまだ男性が多い建設・設備業界において、女性だからこそ発揮できる力や可能性を改めて分かち合うこともできました。

在阪団体として活動5年目を迎えるこの年に、地元で開催される万博をこのように間近で体験できたことは特別なことです。今回の訪問で得られた学びや交流は、これからの活動に活かしていきたいと思います。最後になりますが、このような貴重な機会を与えてくださった皆さまに、心より感謝申し上げます。そして、この経験を通じて、なでしこ設備会としても、より一層未来を切り拓く活動を広げていきたいと考えています。



大屋根リング



集合写真（ウーマンズパビリオン前にて）

告知板



○賛助会員募集のご案内

地球温暖化対策が求められる中、空調衛生設備へのニーズは、変化・拡大しております。

特に、カーボンニュートラル（CN）への取り組みは、当協会と各メーカー、代理店の皆様と連携した研究開発が重要となってまいります。

このような状況を踏まえ、当協会では賛助会員の募集を行っております。

賛助会員として入会されますと、当協会において新技術、新商品の発表の場が持てるとともに、新年交礼会や総会後の懇親会などの交流の場にご参加いただけます。

多くのメーカー、代理店各位のご入会をお待ちしております。

賛助会費 1社月額4,000円

会費納入 入会年度の会費は入会月から翌年3月末までの期間分を入会時に納入
(4,000円×3月までの月数)

以後は年額(48,000円)を下記半期と下半期に分け、上半期は6月末
下半期は12月末に納入

入会手続 協会事務局までご連絡下さい。入会申込書を送付します。

○今後の主な行事予定

開催日	行 事	場 所
4月6日(月) 7日(火)	新入社員研修会	エル・おおさか南館 5階南ホール
5月12日(火)	第53回定時総会	リーガロイヤルホテル
9月26日(土)	第16回配管技能コンテスト	大阪府立東大阪高等職業技術専門学校

●●●●●●● 機関誌「大空衛」の表紙写真の募集 ●●●●●●●

広報委員会では、年2回発行の機関誌「大空衛」の表紙写真につきましては、建築物を中心としたまちなみ等をモチーフとした写真を、会員及び賛助会員の皆様から募集したいと存じます。

つきましては、応募をお考えの方は、事務局(06-6271-0175)までご連絡して下さい。

なお、採用された方には、僅かですが、掲載料をお渡しします。

広報委員会

2026年

迎

春



一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会会員(75社)

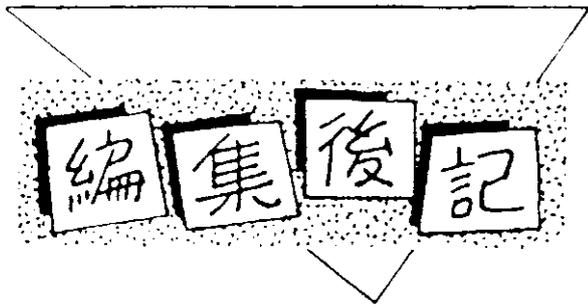
会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
赤井設備工業株式会社	上田 訓司	島設備工業株式会社	井上 暎夫
株式会社朝日工業社大阪支社	三宅 輝彦	主計管工株式会社	中井 主蔵
株式会社上杉工業	上杉 嘉邦	城陽ダイキン空調株式会社	門脇 年治
浦安工業株式会社大阪支店	水野 博史	株式会社城口研究所関西支店	小山 正晃
株式会社江坂設備工業	中村 昭一	新日本空調株式会社大阪支店	上杉 晴一
オーディーエー株式会社	織田 幸子	新菱冷熱工業株式会社西日本事業部	藤岡 展光
株式会社大阪城口研究所	城口 俊雄	須賀工業株式会社大阪支社	中川 修
鳳工業株式会社	齊藤 伸一	株式会社精研	辻 武寿
奥田商工株式会社	奥田 康雅	株式会社千里技研	山田 正人
影近設備工業株式会社大阪支店	東野 大輔	第一工業株式会社大阪支店	坂下 隆
川崎設備工業株式会社西部支社	国枝 実成	第一設備工業株式会社大阪支店	中村 秀樹
川惣電機工業株式会社	昆沙賀正道	大貴設備株式会社	田窪大五郎
川本工業株式会社大阪支店	井上 修	ダイクウ株式会社	橋本 輝
木村工業株式会社	木村 之彦	大晃設備株式会社	高橋 孝治
協伸工業株式会社	森岡 由智	大成温調株式会社大阪支店	中村 修
株式会社共進社工業所	山内 順二	ダイダン株式会社大阪本社	北村広外志
享和設備株式会社	竹本 和正	大熱工業株式会社	藪本 繁明
クウケン株式会社	杉本 知紀	高砂熱学工業株式会社関西支店	赤松 孝宏
九櫻設備工業株式会社	高安 秀幸	株式会社タカネツ	高木 優
株式会社クドウエンジニアリング	磯崎 博	株式会社竹本設備	竹本 太郎
五建工業株式会社大阪支店	安田 実	田丸産業株式会社	堀田 高志
サノヤス・エンテック株式会社	浅尾 洋光	株式会社テクノ菱和大阪支店	武田 和夫
三機工業株式会社関西支社	勝野 耕治	東洋工業株式会社	谷本賢太郎
三建設備工業株式会社大阪支店	永田 博巳	東洋熱工業株式会社大阪支店	藤原 和明
株式会社三晃空調大阪本店	奥村 未那	株式会社T R U S T	桑原 貴志
三神工業株式会社大阪支店	高谷 俊則	株式会社錦	廣田 典子
三宝電機株式会社	井上 清人	株式会社西原衛生工業所大阪本店	植田 順一
株式会社三冷社西日本支社	大田 勝己	株式会社日設関西支店	長尾 正
株式会社JR西日本テクシアMC事業所	清水 勝	日本管工業株式会社大阪営業所	小野 直人
敷島煖房工業株式会社	土橋 誠二	日本ファシリオ株式会社大阪本店	植谷 信之
四國機械設備株式会社	曾我 幸二	日本メックス株式会社関西支店	立川 雅司

会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
有 限 会 社 原 設 備	原 良一	株 式 会 社 マ サ キ 設 備	正木 規善
日比谷総合設備株式会社関西支店	嶋村 克久	丸 住 株 式 会 社	吉田 博子
株 式 会 社 一 二 三 工 業 所	一二 健夫	株 式 会 社 マ ル フ ォ ー ス	田代 一臣
株 式 会 社 不 二 設 備 工 業 所	水田 幸宏	美 和 設 備 工 業 株 式 会 社	栢瀬 秀樹
富士電機E&C株式会社西日本支社	辻 郁次	柳 生 設 備 株 式 会 社	福地 文雄
不 二 熱 学 工 業 株 式 会 社	近藤 康之	若 林 設 備 工 業 株 式 会 社	若林 豊
株 式 会 社 前 田 商 会	前田 裕子		

賛 助 会 員

(63社)

会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
朝日機器株式会社大阪支店	北 克也	タ カ ラ 通 商 株 式 会 社	渡辺 晃
アズビル株式会社ビルシステムカンパニー関西支社	岩木 清	株 式 会 社 多 久 製 作 所 中 日 本 支 店	吉田 智也
アルファ・ラバル株式会社大阪支社	竹次 裕佑	株 式 会 社 タ ブ チ 大 阪 特 販 部	下玉利 誠
安 藤 株 式 会 社	安藤 晴重	テラル株式会社関西支店	小川 浩之
イシグロ株式会社西日本営業本部	松倉 義人	東 西 化 学 産 業 株 式 会 社 本 社	河野 祐一
因幡電機産業株式会社	山田 剛志	東 テ ク 株 式 会 社 大 阪 支 店	糸満 睦夫
井 下 機 器 株 式 会 社	井下 光泰	T O T O 株 式 会 社 特 販 本 部	土井 賢治
荏原実業株式会社関西営業所	綿谷 龍一	T O T O 関 西 販 売 株 式 会 社	前田 信
株式会社荏原製作所西大阪支店	柳田 弘一	株 式 会 社 ニ シ テ ッ ク 関 西 支 社	藪川 洋一
株式会社オーケーエム大阪支店	野曾原康夫	ニ ッ ケ イ 株 式 会 社 大 阪 営 業 所	清水 栄蔵
オーケー器材株式会社	山田 進一	日製電機株式会社大阪空調営業所	秦 信宏
株式会社オンダ製作所大阪営業所	石川 辰也	ニ ッ タ 株 式 会 社	鈴木 弘樹
川重冷熱工業株式会社西日本支社	加藤 宏康	日 本 電 技 株 式 会 社 大 阪 支 店	八木 浩一
株式会社川本製作所大阪支店	山下 哲彦	日 本 水 処 理 工 業 株 式 会 社	川西 昌史
キタックスエンジニアリング株式会社大阪本社	西本 智彦	株 式 会 社 日 阪 製 作 所	大森 輝博
株式会社キッツ大阪支社	大屋一比古	日 比 谷 通 商 株 式 会 社 関 西 支 店	芝口 薫
木村工機株式会社大阪営業本部	登尾 公彦	富 士 機 材 株 式 会 社 関 西 支 店	卷島 史典
協立エアテック株式会社大阪支店	津田 勇	株 式 会 社 扶 洋	横田 好明
空研工業株式会社大阪支店	池田 恒夫	株 式 会 社 ベ ル テ ク ノ 大 阪 支 店	和田 修治
株式会社古島大阪支店	宮城 弘幸	北 勢 工 業 株 式 会 社	北山 秀晴
株式会社コスタコーポレーション	白井 敏弘	三 菱 電 機 冷 熱 機 器 販 売 株 式 会 社 西 日 本 支 社	福岡 敬史
三和銅管株式会社大阪営業所	藤田 隆	森 松 工 業 株 式 会 社 大 阪 支 店	田邊 亮真
ジョンソンコントロールズ株式会社大阪支店	岡田 昌之	株 式 会 社 大 和 バ ル ブ 西 日 本 統 括 支 店	小池 弘明
新晃工業株式会社大阪支社	加藤 勉	ヤ マ ト ヨ 産 業 株 式 会 社	角野光志朗
株式会社振興社設営	楠 幸隆	ヤ ン マ ー エ ネ ル ギ ー シ ス テ ム 株 式 会 社 大 阪 支 社	徳島 久泰
シンテック株式会社大阪営業所	田村 周治	ユ ア サ 商 事 株 式 会 社 関 西 支 社	小西 達朗
新日本美風株式会社	荒牧 太郎	株 式 会 社 ユ ニ ッ ク ス 大 阪 営 業 所	内田 徹
住友商事マシネックス株式会社	才本 幸治	株 式 会 社 ヨ シ タ ケ 大 阪 営 業 所	古澤 嘉啓
タイョージョイント株式会社大阪営業所	後藤亮太郎	株 式 会 社 L I X I L 関 西 設 備 プ ロ ジ ェ ク ト 支 店	北古賀寛之
株式会社ダイキアクシス大阪支店	塩崎 浩司	株 式 会 社 R Y O D E N 西 日 本 支 社	作田 匡志
株 式 会 社 大 和	和田 浩一	リ ン ナ イ 株 式 会 社	岡野 哲明
高井水栓株式会社	高井 徹		



近年、地球温暖化の影響で「四季が二季になる」と言われるほど、季節の移ろいが急速に変化しています。自然界にも異変が見られます。山林に生えるブナやコナラなどの「どんぐり」や木の実が不作となる年が増え、また異常気象や森林伐採も重なり、熊が市街地や人里に出没したり事故を引き起こすニュースが、テレビやインターネットで毎日のように流れています。人と自然が共生する重要性を改めて感じる一年となりました。

一方、社会では働き方やオフィス環境の柔軟化が進み、服装や勤務形態も多様化しています。こうした変化は、私たち業界においても新しい価値観や対応力を求める時代の流れといえるでしょう。

新しい年を迎え、会員の皆様におかれましては、環境変化にしなやかに対応し、健やかで希望に満ちた一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

(Y . K)

新年あけましておめでとうございます。

2026年は60年に一度巡る干支の丙午です。

「丙」は、陽の「火」を表し、太陽のような明るさや情熱、強い意志を象徴します。

「午」は十二支では馬を表し、これもまた陽の「火」に属し、行動力やスピード、エネルギーを意味します。この2つの組み合わせである丙午には、「情熱と行動力で突き進む」「燃え盛るようなエネルギーで道を切り開く」といった縁起のよさが表されます。

2026年は、デジタル化のさらなる加速や持続可能な社会への意識の高まりが予測されます。このような変化の時代において、快適で衛生的な空間づくりを担う私たちの役割は、ますます重要になると確信しております。

この一年、軽やかに、そして力強く。新しい景色を目指して、皆で未来を駆け抜けましょう！

みなさまにとって、この一年が希望に満ち、飛躍の年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

(A . H)

世界158の国・地域と7つの国際機関が参加しての2025大阪・関西万博。6か月間の会期中の総入場者数が2,550万人を超え、10月13日に閉幕しました。

入場チケットを購入するにも四苦八苦し、

何とか7月下旬に訪れました。当然、人気パビリオンの予約などとれるわけではなく、予約の必要のないパビリオンも長蛇の列が多く、比較的スムーズに入れるコモンズ(複数の国・地域が一つの建物内でブースを設けて展示を行う共同展示エリア)を中心に会場内を巡りました。

コモンズでは、まだまだ未知の国・地域が多くあり、各スタッフがそれぞれの魅力を身振り手振りで全力でアピールしている姿が印象的でした。

また、大屋根リングに上がったところ、会場全体を一望できるのは素晴らしいのですが当日は気温が35度を超える猛暑日で、直射日光を遮るものが何もないため、日傘を差しているにもかかわらず汗が噴き出て止まらず、早々に下りた次第です。

1970年の大阪万博を訪れた印象は、当時中学生にとっては、来場者の多さと熱気に圧倒されるとともに、未知へのワクワク感でした。

今回もその感覚が少しではありますが、蘇ってくるのを感じました。

関係者の皆様、大変お疲れさまでした。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

(S . H)

大空衛 第98号

令和8年1月31日発行

編集人 広報委員会

発行人 一般社団法人大阪空気調和衛生工業協会
〒541-0052

大阪市中央区安土町1丁目7番20号

新トヤマビル3階

Tel 06 (6271) 0175

Fax 06 (6271) 0177

E-mail: osakakueikyo@tenor.ocn.ne.jp

URL <http://daikuei.com>

印刷 株式会社西川印刷所

